

下米田地区の魅力を発信する情報紙

よなだより

Vol. 8

令和元年10月発行

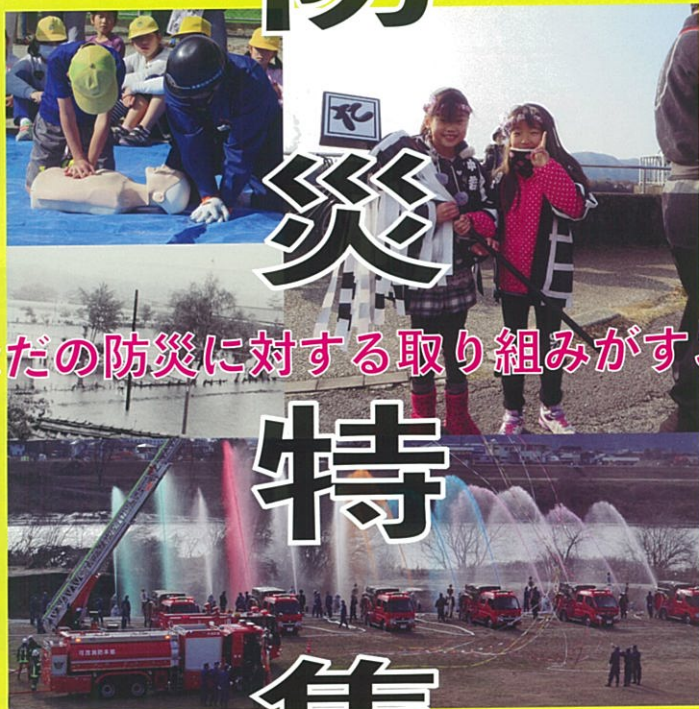
FREE 無料

防

災

特

集



よなだの防災に対する取り組みがすごい！

問い合わせ先 下米田連絡所 ☎25-2714 FAX:24-0106 E-mail:yoneda-ren@city.minokamo.lg.jp

まちづくり活動に関わってくれる委員也大募集！

発行：下米田地区まちづくり協議会

はじめに

みなさん こんにちは。下米田地区まち協です。

今回のテーマは「防災」です！下米田地区が行っている防災の取り組みにスポットを当てました。今年も各地で災害が起こっており、防災に対する世の中の意識も大きく変わってきているのではないのでしょうか？もはや他人事ではない災害に対して地域の防災活動が必要になってきます。

下米田地区の防災の取り組みも他の地域に誇れる大変画期的な活動をたくさん行っています。下米田地区で活躍している防災組織が災害に対してどのような対策をとっているのか、防災に対してどのような向き合っているかを、防災関係者に直接取材をして聞いてきましたのでぜひ見てください。

地域が一体となった取り組みや、こども防災力を高めるさまざまな取り組み、そして、わが地域を守る消防団の活動など、地域の人たちの防災に対する知恵と工夫を知ることができます。

災害が来たときは、みなさん一人ひとりのお力が必要です。防災に対して準備をしていただき、日頃から少しでも防災意識を高めてほしいと思います。



●下米田地区の主な防災協力団体

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 自治会長会 | 2. 消防団第8分団 | 3. 災害協力隊 |
| 4. 交通安全協会 | 5. 社会福祉協議会 | 6. 日赤奉仕団 |
| 7. 民生委員 | 8. 女性部 | 9. 下米田小PTA |
| 10. 下米田小学校 | 11. 八昇会 | 12. 健寿会 |
| 13. 体育振興会 | など | |

下米田地区には防災に協力してくれる人たちが団体があるんですね。いや～本当に心強いです。



【ポイント1】
手厚い防災協力者がいます

●災害時の主な活動団体のご紹介

消防団第8分団

各自治会より選出された消防団員は総勢33名。災害の最前線で活動する、まさに防災の要となる団体です。彼らの活躍なくして、下米田地区の防災は語れません。現在は、渡辺和樹分団長を中心に、日々訓練等をされており災害時には地域のリーダーとして防災力を発揮しています。(5～6ページにインタビュー記事があります)

災害協力隊

災害協力隊は地域の災害に備えた活動をしています。災害時には、消防団、自治会等と連携が取れるような体制づくりに努めています。(4ページにインタビュー記事があります)

ここがすごい下米田！

【ポイント2】

防災訓練の中身が
すごいです



消防団分団長
渡辺和樹さん

地域の防災力向上と
災害時の連携を目的に
地域が一丸となって
訓練します。



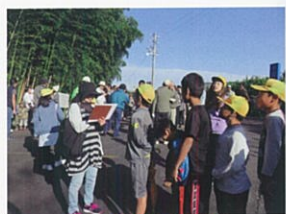
AED 体験



ジェットシューター訓練



炊き出し訓練



安否確認訓練



放水訓練



煙道体験



消火器訓練



消防車乗車体験



この他にも
・どのう積み訓練
・防災アナウンス体験
・救急救命体験
などの訓練があります！

下米田地区の防災訓練では、煙道体験や放水体験など多くの訓練を体験することができます。平成27年からの4年間は、下米田小学校の全校生徒の訓練参加が実現しました。まさに地域全員が参加できる防災訓練となっています。



子ども放水訓練

※体験種目は年度によって異なります

【ポイント3】

子ども防災力を
高める取り組みが
すごいです

平成 25 年からこの取り組みを開始しました。
秋の火災予防週間などの際はこどもたちをのせた消防車が、
地域を巡回するというものですが、同時に実際の防災アナウ
ンスを行うのも子どもたちで、地域に防災を呼びかけます。

- 子どもたちが実際に消防車に乗車し、一緒に消防活動を行います！
- 子どもたちが自ら防災アナウンスを行い、地域に呼びかけをします！



今年も 消防車乗車体験 募集中！

日 程：令和元年11月9日（土）～15日（金）
時 間：午後7時30分から1時間程度
対象者：小学生以上 1日4名まで
問合せ・お申込み：各自治会の消防団員
または下米田地区まちづくり協議会 渡辺哲郎（090-1561-3032）



消防車に乗るだけでも貴重な体験ですが、実際のアナウンスま
で子どもたちが行うのって本当に素晴らしいことですね。
子どもから大人まで地域全体で防災力の向上に努めています！



地域の災害に備えた活動があります

●災害協力隊 隊長 田中弘さんに聞きました。

Q1. 災害協力隊は何名で活動されていますか？

現在各自治会から顧問3名、隊員30名で活動しています。

Q2. 普段は、何をされていますか？

消防団員と同じように、普段は各自、農業や自営業、会社員として勤めています。

Q3. 災害協力隊の重要性を教えてください。また、災害時はどのような活動をされるのでしょうか？

災害協力隊の隊員は地元の消防団を退団した者を中心に結成されており、災害時には自宅防災組織や消防団の活動に対する協力・支援をするため平成17年に発足しました。防災訓練への参加や防災講習、救急救命講習などを行っております。

Q4. いざという災害に対して、何が必要だと感じますか？

地域の防災としては、実際に災害が発生した事を想定しての防災訓練により地域の連携や協力体制を確立しておく事が重要だと思います。

Q5. 今後はこの地域がどのようになっていくと良いでしょうか？

何よりも大切なのは、防災訓練等を通じて日頃から災害を身近な問題として考え、皆さんが自助と共助の防災意識を高める事だと思います。

●災害協力隊隊長 田中弘さん（56歳） 自治会名 牧野新興自治会
平成6年 消防団（第8分団）入団 平成12・13年 第8分団分団長 就任
平成17年 災害協力隊 発足・入隊 平成28年～災害協力隊 隊長



田中さん、この度は取材へのご協力ありがとうございました！

過去に襲った下米田地区の災害



【防災インタビュ】もしもの災害に地域みんなが備えること

今回、下米田地区の防災について考えてみます。近年各地で起きる災害は万一の災害ではなく、いつ起きてもおかしくない災害に変化してきている気がいたします。

防災の取り組みについては自助努力が求められていて、この下米田地区においても、災害が来た時のとるべき行動や日頃の備え、防災の知識を把握しておくことが、大事ではないかと思っています。

大災害時の避難場所が一体どこなのか、避難経路はどの道順なのか、安否確認の伝達方法等、自ら一人一人が学ぶことが大事です。そして、地域で活躍される地元消防団の存在も忘れてはなりません。

今日は、今回の防災特集に際し、第8分団 分団長 渡邊和樹さんに防災についてお話を聞いてみたいと思います。



いつもお世話になっております。今日はよろしくお願いします。

よろしくお願いします。

実際、この地域で大災害が起きる可能性はあるのでしょうか？

そうですね。来るか分からないのが災害ではあります。昨年の岐阜県閉市上之保や下呂市などにおいて豪雨災害が起きたように、この地域でも十分災害が起きる可能性がある。危機感を感じています。

やはり、水災等に備えた活動をしているのでしょうか？

もちろん。いざというとき力を発揮できるように訓練を行っています。災害時にはリーダーが必要になりますので、訓練はリーダー育成にも役立っております。



これは、目的防災、というものですね。災害時の対応能力を高める防災訓練などが、まさに目的を持った活動にあたると思います。

そして、こういった活動が下米田地区の安心を支えていますね。地震が来ても大丈夫です。

実はそこは違います。地震は瞬間で甚大な被害に襲われるという災害です。で、地域の消防団がすぐさま救助等の活動ができるかという点、これは出来ないうと。また、広範囲に同時に損害が発生するという性質があるということ、発生の予期ができないという点があるということあげられます。

そうなんです。消防団に頼りすぎでは、いけないということですね。



もちろん、訓練を行い防災意識を高めています。消防団にも限界があるという点は地域の人々にも知ってもらいたいと思っています。こういった環境の中で地震などの大災害に対しては、やはり自助共助の精神が大事です。消防団として、自助共助の精神を地域に根付かせるための取り組みも行っています。

どんな取り組みをしているのか教えてください。

地域防災コミュニケーション活動を行っています。地域住民が一体となった防災訓練や地元の祭りの警備など、地域とのつながりづくり、心がけています。ことももちろ消防団に乗って防災アナウンスをする取り組みも幼少から防災を学ぶ機会として役立っています。



なるほど。地域コミュニティの結束力を高めることは、地域の防災力を高め、結果防災につながるわけですね。本当に素晴らしい取り組みですね。



目的防災は、訓練等を行いそこで消防技術を学びます。一方で災害時の自助力を育成するために、地域の防災意識を高める活動も同時にしていかなければならないと考えています。一人ひとりが防災意識を持ってくれるだけでその地域の防災力は飛躍的に向上します。

地域交流や、コミュニティづくりの場に参加する活動は、結果的に地域がつながる活動になります。このような取り組みを強化することで、下米田地区は災害時に助け合える地域になっていくと思っています。



みんなが気付かないうちに、防災を取り組んだり、いつのまにか地域のつながりが出来ていたりすることって素敵ですね。



今後とも地域との連携を図りながら、消防団活動を進めていきたいと思っています。そして団員のみならずもたくましく立派に活動しており、いずれは下米田地区の宝になると信じています。



消防団は地域に対して大変重要な役割を果たしていますね。



防災に対する知識や技術は今後ますます必要になってきますので、消防団の活動の中で学んでいきたいと思っています。



消防団は日常では体験できない経験をしながら、多くの防災知識や消防技術を学ぶ場になっています。最後に地域の方々にメッセージをいただきますでしょうか？



私たち第8分団は地域のきずなを深めながら防災について精一杯活動してまいりますので、引き続き消防団活動に對しましてご理解ご協力をよろしくお願いいたします。地域の皆さんにおかれましては、自助努力が叫ばれており、今一度防災について見つめなおしていただき、万一の災害に備えてください。



ありがとうございます。引き続き消防団活動頑張ってください。本日はありがとうございました。



こちらこそ、本当にありがとうございました。

美濃加茂市消防団
第8分団分団長 渡邊和樹さん

●団歴紹介

平成22年度 入団
平成26年度 班長
平成27・28年度 部長
平成29年度 副分団長
令和元年度 分団長 団歴8年目



平成31年度（令和元年） 操法訓練 下米田小学校にて

今後の第8分団 活動案内
●令和元年10月27日
防災訓練

●令和元年11月9日～15日
秋の全国火災予防週間

●令和元年12月26日～30日
年末夜警

●令和二年1月
消防 出初式

下米田地区まちづくり協議会 活動報告

令和元年度の上半期、まち協では津田左右吉博士の少年時代にスポットをあててまちを歩いた「第2回ぶらよねだ」や、米田白山の興味深い自然について学べる「米田白山自然観察会」を開催し、さらには「よなだ納涼夏祭り」の出店などの活動をしてきました。今年の夏祭りでは、心配されていた天気も雨にならず、販売していた綿菓子とアイスクリームもおかげさまで大好評で、早めの完売になりました。

さて、暑い夏も終わりのよい秋です。今後もさまざまなイベントを用意しております。詳細は広報折込チラシなどでお知らせします。ご協力よろしくお願いいたします。

- 【今後のイベント情報】**
- 10月 料理教室
 - 11月 米田白山登山、ノルディックウォーク
 - 12月 グリーン大作戦



第2回ぶらよねだ（5月）



米田白山自然観察会（6月）



夏祭り（7月）

下米田地区 防災訓練のお知らせ

日程：令和元年 10月 27日（日曜日）

時間：午前8時から11時半まで

場所：各自治会区 並びに 下米田小学校グラウンド

協力：自治会長会・消防団第8分団ほか各種ボランティア団体



★防災訓練で、どのようなことをやっているかは2ページで紹介しています！



あとがき

今回、下米田の防災の特集をいたしました。改めて下米田の取り組みはすごいと感じました。地域が一体となった防災訓練は防災を通じて助け合いの気持ちや地域のつながり・地域のきずなを作っていく大切なイベントであることを知ることができました。そして、こども防災力を高めるちびっこ消防団の活動は防災活動をいっしょに行いながら子供たち自身の成長も促しているという事を聞きしました。将来を担う子供たちへの防災教育は大いに役立つと思います。

下米田の消防団員の方々と話す機会がありました。下米田の将来のことを真剣に語り合うことができる本場に素晴らしい人たちがいました。地域が協力し連携し災害が来ても助け合うことができます。そういった下米田を目指します。まち協といたしましては、防災についてしっかりと取り組んでいかなければならないと思います。まちづくりの基本となる防災を下米田地区のみならずぜひ共有していきたいと思っています。

今回の防災特集に関して、多くの皆様に取材やインタビューにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様にいただいたアドバイスや取り組みについて今後は地域へ向けてPRしていきたいと思っています。引き続き下米田地区まち協に対してご理解ご協力をよろしくお願いいたします。